通貨レポート Vol.2

ご参考資料
2016年5月

ブラジルレアル

ポイント① ブラジルレアルは年初より上昇

ブラジルレアルは、2015年は新興国通貨の中でも特に大きく下落しました。財政再建の遅れや景気低迷、有効な政策を打ち出せないルセフ大統領に対する市場での不信感などが背景にありました。

しかし、2016年に入り、ブラジルレアルは他の新興国通貨以上に上昇しています。2月に原油価格が反発に転じたことに加え、3月上旬にルセフ大統領やルラ前大統領が国営石油会社を巡る汚職問題に関与していたと報じられ、大統領弾劾の実現可能性の高まりに市場が反応したようです。

ポイント② 上院で弾劾法廷の設置が可決

5月12日（現地時間）、ブラジル上院議会はルセフ大統領に対する弾劾法廷の設置を賛成多数で可決しました。これを受けて、ルセフ大統領は裁判が行なわれる間、最大180日間停職となり、その間はテメル副大統領が職務を代行します。

今後は弾劾法廷において審議が行なわれ、9月頃とみられる上院本会議での投票で、上院議員の3分の2以上の賛成が得られた場合、ルセフ大統領は失職し、テメル副大統領が大統領に昇格することになります。市場では、ルセフ大統領が退陣することで、ブラジルの構造改革が進展するとの期待が広がっていると考えられます。ただし、政治情勢の混乱が続くリスクもあり、留意が必要です。

ポイント③ 新体制の政策に注目

ブラジルの景気は低迷を続けています。年明け以降、インフレ率はやや低下しましたが、いまだ高水準にあります。一方、貿易黒字が定着し、経常収支には改善の兆しもみえます。

テメル暫定政権の主要閣僚人事では、長期にわたりブラジル中央銀行の総裁を務め、市場の評価の高いメイレレス氏が財務大臣に就任しました。今後は、テメル暫定政権が市場の期待通り、財政健全化や構造改革に向けた政策を打ち出していけるかが注目されます。

図1：為替レートの推移

期間：2014年12月31日～2016年5月20日、日次

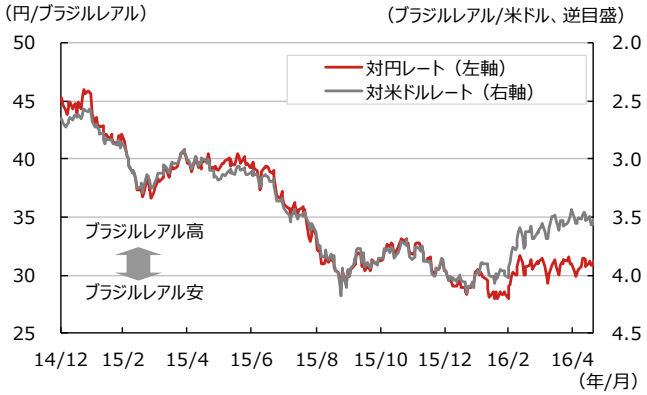
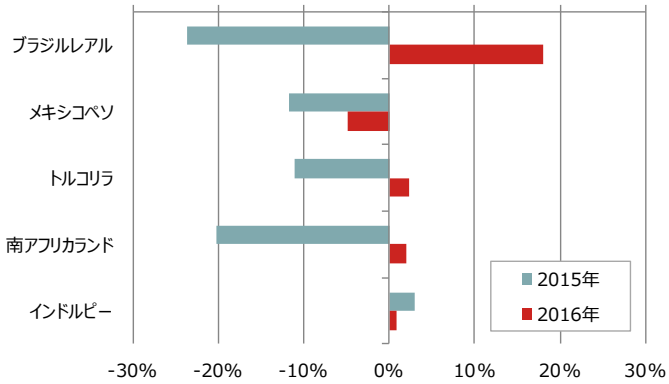


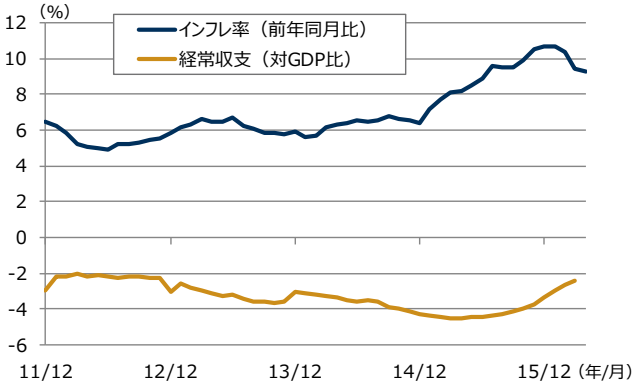
図2：各通貨の金利を含めたトータルリターン（対米ドル）



＊各通貨の対米ドルのリターンに米ドルとの金利差を加算したトータルリターン
2015年：2014年12月31日～2015年12月31日
2016年：2015年12月31日～2016年5月20日

図3：インフレ率と経常収支

期間：2011年12月～2016年4月、月次
（経常収支は2016年3月まで、過去12ヵ月累計）



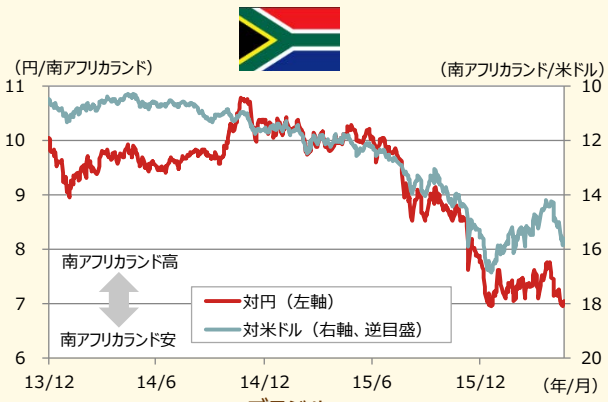
（出所）Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

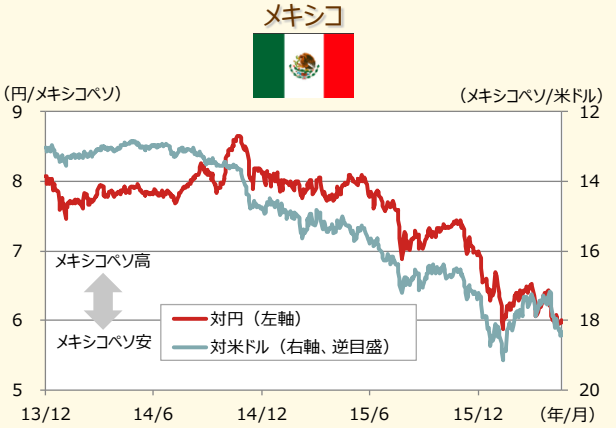
【ご参考】各国の為替レート(対米ドル、対円)　期間：2013年12月31日～2016年5月20日、日次

トルコ

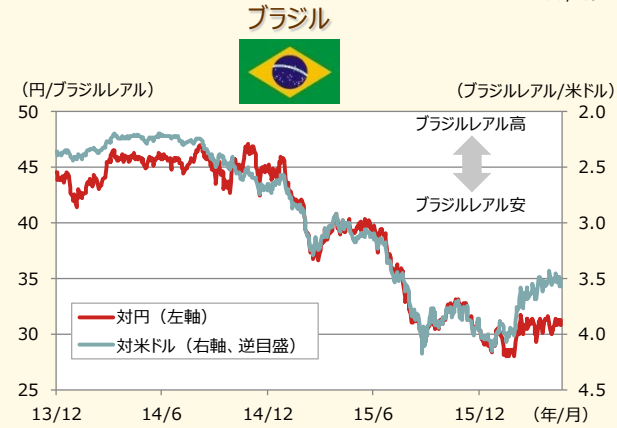
南アフリカ



メキシコ



ブラジル

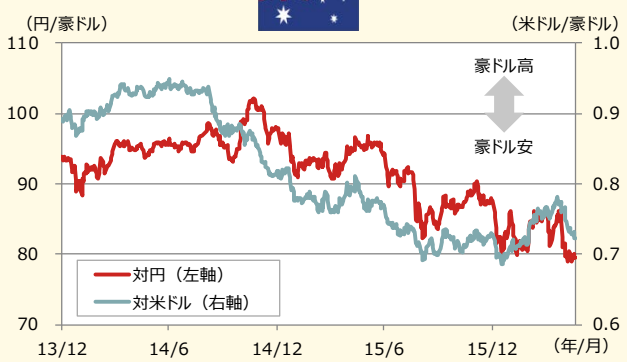


インド

インドネシア

中国

オーストラリア



(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。